

# リケ+ガード KV210

®

## 抗ウイルス・抗菌フィルム

### 抗ウイルス性能

製品上に付着した  
ウイルスの数を

**99%以上**  
減少させます。

### 傷付き防止

施工時も傷つきにくく  
指紋や汚れも  
簡単に拭き取れます。

### 高透明

ガラスに貼りつけ後も  
外観を損ないません。

### SIAAマーク取得

性能の安定性を保証する  
SIAAマークを取得した

**世界初** (※)

の高透明フィルムです。

(※) 抗ウイルスおよび抗菌の認証を受けた  
透明フィルムとして。2020年3月31日現在

### 抗菌性能

製品上の細菌の増殖割合を

**1/100以下**  
に抑制します。

### ガラス飛散防止機能

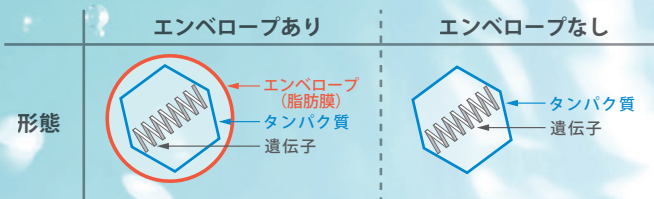
地震・台風などの災害で  
ガラスが割れても飛散しないよう  
災害対策ができます。

### 紫外線防止機能

99%以上の紫外線を  
カットします。(※)

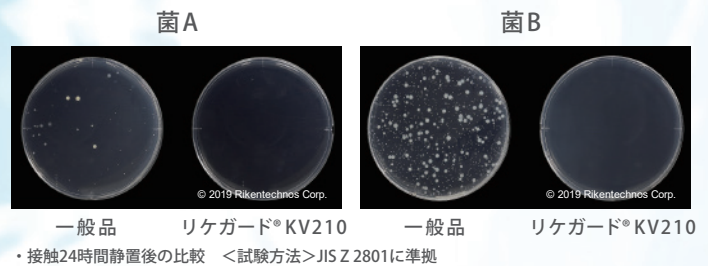
(※) JIS A5759:2016  
紫外線透過率試験

#### 抗ウイルス機能



- ・フィルム表面のウイルスを99%以上減少
- ・エンベロップ有り/無しの両種のウイルス<sup>(※)</sup>に効果発揮 ⇒理論上、殆どのウイルスをカバー  
<試験方法>ISO21702に準拠

#### 抗菌機能



#### SIAAマーク取得

**SIAA**  
ISO 21702  
抗ウイルス加工  
JP0612310A003R

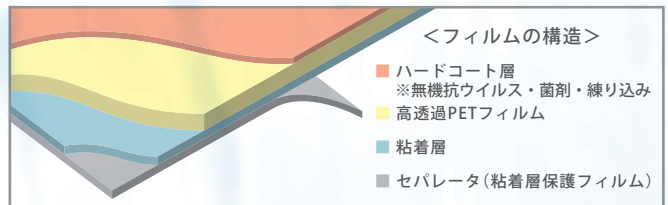
ISO21702法により評価された結果  
に基づき、抗菌製品技術協議会ガ  
イドラインで品質管理・情報公開  
された製品に表示されています。

**SIAA**  
ISO 22196  
抗菌加工  
JP0122310A0004O

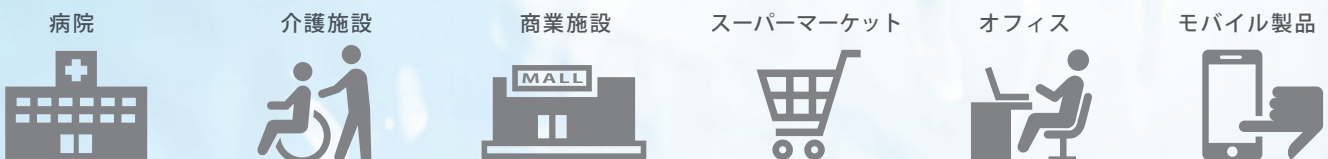
経済産業省の「抗菌加工製品ガ  
イドライン」JISの基準、抗技協  
の「自主基準」のすべてに適合  
していることを意味します。

#### 製品仕様

フィルム規格 W: 1500mm H: 30mロール  
フィルム厚み 約150μm (リケガード®のみ100μm)



#### フィルム適用例



(※) 薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)の関係上、特定のウイルス名を表記することができません。

#### 製造元

リケンテクノス株式会社

※リケガードはリケンテクノス(株)の登録商標です。  
※リケガード®KV210は特許を取得しています。

#### お問い合わせ先



田島ルーフィング 株式会社  
〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UD X 21F  
デザインフィールド課  
TEL 03-6837-8940

## リケガード® KV210に関して

### 【抗ウイルスについて】

- 1) 無機抗ウイルス剤・練り込み・表面層：JP00612310A0003R
- 2) SIAAマークは、ISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
- 3) 本製品は医薬品ではございません。
- 4) すべてのウイルスを不活性にするものではありません。
- 5) SIAAの安全基準をクリアした抗ウイルス材料を使用しています。
- 6) SIAAの安全性基準に適合しています。
- 7) 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。

### 【抗菌について】

- 1) 無機抗菌剤・練り込み・表面層：JP 0122310A00040
- 2) SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
- 3) 本製品は医薬品ではございません。
- 4) すべての細菌を不活性にするものではありません。
- 5) SIAAの安全基準をクリアした抗菌材料を使用しています。

## リケガード® KV210に関してのお取り扱い方法

※リケガード® KV210は以下フィルムと呼称

### 【フィルムの保管について】

- ・納品後はなるべくお早めにご使用ください。保管する際は、剥離紙が内側になるように巻き、縦置きして保管してください。
- ・フィルムを小巻にし、長時間放置しますと、剥離紙とフィルムが部分的に浮き上がることがあります。
- ・フィルム表面に粘着テープや養生テープなどを長時間貼ったままにすると、きれいに剥がせなくなる事がありますのでご注意ください。

### 【施工のご注意】

- ・施工の際は別紙「フィルム施工要領書」に従って適正に施工してください。
- ・施工道具についても推奨道具をご利用ください。

### 【施工場所について】

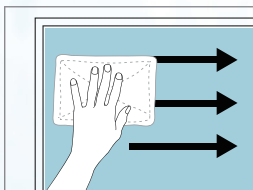
- ・頻繁に水分と接触する場所や密閉空間など熱がこもりやすい場所ではフィルムの劣化が促進されますので、使用はお勧めできません。
- ・常時50℃以上となる場所や水中・湿度が高い場所への施工は避けてください。
- ・埃等が飛ぶ環境での施工は、下地とフィルムの間にゴミが混入する原因となりますのでお勧めできません。

### 【施工作业環境について】

- ・低温時には粘着力が低下し、密着不良によるシートの膨れ、浮きが発生することがあります。
- ・施工現場の環境が10℃以下の場合、ドライヤー等を使用して下地基材やフィルムを温めながら圧着してください。
- ・低温時にはフィルムが裂けやすくなりますので、カットする際はご注意ください。

### 【メンテナンス方法】

- ・フィルム表面に水滴がついた場合はよく拭き取ってください。残っていると水道水のカルキ跡などが残る場合があります。
- ・フィルム表面に汚れなどがついた場合は、柔らかい生地で軽く拭き取ってください。  
汚れがひどい場合は、柔らかい生地に薄めた中性洗剤をしみこませ、表面をやさしく拭き取った後、きれいな柔らかい生地で拭いて乾燥させてください。  
アルコールを使用する場合、一般的に手などの消毒に使用されている「エタノール」をしみこませた柔らかい生地で拭き取った後、乾燥させてください。  
その他のアルコールを使用すると変色する恐れがあります。
- ・フィルム清掃に、除光液・ベンジン・シンナー・漂白剤などの溶剤、アルカリ性・酸性の洗剤、また研磨剤は使用しないでください。
- ・ブラシ、クレンザー、研磨剤入りのスポンジ、硬い布など、フィルム面を傷つけるおそれのあるものは、使用しないでください。
- ・病院設備などの消毒に使用されている「次亜塩素酸水」は、拭き取り以外の使用は、変色する恐れがあるため使用しないでください。
- ・砂ほこりや金属粉などが付着している場合、事前に水や十分に水を含んだ布などで洗い流してから、上記の清掃を行ってください。



- 薄めた中性洗剤
- エタノール

- × ベンジン等の有機溶剤
- × アルカリ性・酸性洗剤
- × 研磨剤
- △ 次亜塩素酸水  
※拭き取り以外の使用禁止



### 【日常のご注意について】

※フィルムに傷をつけたり、劣化させないことが、長い期間ご使用いただくためのポイントです。以下にご注意ください。

- ・硬いものや、とがった物を当てないようにしてください。
- ・たばこの火、その他の高温熱源を近づけないでください。
- ・フィルム表面にステッカーやシールなど粘着剤を使用した物を貼ったり、マジックなどで書いたりしないでください。

